



《校訓》金剛石の光を發揮し  
まわりを照らせ

# 六中だより

平成29年7月10日

第10号

文責

八代市立第六中学校

校長 杉田 明

学校教育目標：夢や目標に向かって、心磨き・体磨きを土台とし、自ら考え、学ぶ生徒の育成  
スローガン：「キラッと輝く六中 ①一生懸命がかっこいい ②継続は力なり」

## 中体連！初優勝

女子バレーボール部 栗原主将

去年の決勝戦で負けた日から、臥薪嘗胆という言葉に胸に、日々練習に励んできました。たまには辛いことやきついこともあったけど、「中体連優勝」という大きな夢があったので、その夢を叶えたい一心で、皆で支えあって頑張ってきました。中体連1日目。(略) 2日目は、…(略)

次は決勝戦で千丁中とでした。去年は千丁中に負けて県中に行けなくて悔し涙を流したのを今でも覚えています。今の高1の人たちも応援に来てくれていたので、「負けるわけにはいかない」と自分に言い聞かせて戦いました。1セット目の出だしから攻め続け、雰囲気もよく、いつも通りのバレーができていたので、そのまま1セット目はとることができました。2セット目は出だしが悪くなってしまい、3点も離れてしまいました。追いついたと思っても、またミスで2点差。やっと追いついたのが12点くらいでした。その後も集中してプレーをし、13-12、14-12という形で点数をはなすことができました。やっと追いついたので焦りもどんどんひいていき、終盤も六中らしいバレーができ「中体連”初”優勝。保護者の方たちの方にあいさつに行くと、2階から六中の校歌も歌ってくださり、3年生は全員涙を流しながら歌いました。閉会式も終わり、片付けも終わったら、先輩たちが上から降りてきて、「おめでとう!!」「頑張ったね!!」「お疲れさま!!」いろんな言葉をかけてくれました。今の高1の一人から「ありがとう」と涙を流して言われたのが、一番胸にジーンときて、また涙が出できてしまいました。このときに、頑張ってた良かったなと改めて思いました。

自分が悩んでた時に支えてくれた仲間・先生、ちゃんとしていない自分が悪いのに、一方的に怒って口もきかない日もあったのに、見捨てずに最後まで私を応援してくれた両親、嫌なことがあった日は祖父母の家に行き笑顔がたくさんもらっていたこと。今、考えれば、たくさんの人に支えられていたなと思います。この感謝の気持ちを忘れず、県中に行っても、八代六中らしいバレーをして、後悔がないようにしたいです。(以下 略)

(1年「学年だより」から引用)

八代中体連結果【部活動外個人種目】2年田中君(テニス)、2年田中君(水泳)が県大会出場

## 第1回の避難訓練を実施

6月29日(木)に避難訓練を実施しました。今回は、地震・津波の避難訓練ということで、運動場に一次避難をして、津波の発生を想定して段階で校舎3階へ二次避難をしました。市役所の危機管理課からお出でいただき、避難訓練の評価をお願いしました。講評では「迅速な避難ができました。」という評価をいただきました。実際には、次のような保護者への引き渡し確認が必要になりますので、方法を掲載しておきます。



【引き渡しの方法】①原則として、直接保護者に引き渡す。②引き渡す際には、いつ、誰が、どこで引き渡すかを確実にし、原則として「引き渡しカード」に必ずチェックしてから行うようにする。③留守家庭の者については、氏名、人数を確認し、学校で保護する。④保護者に引き渡すことができない場合は、学校で保護する。

## 第2回学校運営協議会



7月7日(金)の授業参観に合わせて第2回学校運営協議会を開催しました。授業参観は全学年合同で人権集会を行い、それを保護者と共に見てもらいました。「人権を考えることは、生徒にとって大切なことで、良いタイミングの開催だった」という話をいただきました。その後は、学校評価、防犯、交通安全等を話題にして協議を行いました。